

はじめに

本冊子は、科学研究費助成事業（科研費）の公募にあたり、申請までのスケジュールや、申請に必要な本大学内での手続きのフロー、調書作成に関するアドバイスをまとめたものになります。

種目ごとの公募要領、研究計画調書については、文部科学省、または日本学術振興会の HP を確認してください。

また本大学内で必要となる様式については、研究部 HP からダウンロードできます。

■ 文部科学省（学術変革領域研究）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/main5_a5.htm

■ 日本学術振興会 科学研究費助成事業トップページ

<https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/index.html>

・基盤研究(A・B・C)、挑戦的研究、若手研究

https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/kiban.html

・研究成果公開促進費

https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/13_seika/keikaku_dl.html

・ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ K A K E N H I)

<https://www.jsps.go.jp/j-hirameki/boshu.html>

■ 科研費電子申請システムトップページ

<https://www-shinsei.jsps.go.jp/kaken/index.html>

・操作手引等

<https://www-shinsei.jsps.go.jp/kaken/topkakenhi/download-ka.html>

■ 研究部 科学研究費助成事業トップページ

<http://www.ritsumei.ac.jp/research/member/kakenhi/>

・応募手続きについて

<https://www.ritsumei.ac.jp/research/member/kakenhi/oubo/index.html/>

申請にあたっての留意事項

■ 科研費応募資格の確認

本大学より、科研費に研究代表者あるいは研究分担者として申請を行うには、科研費応募資格が付与されている必要があります。

「立命館大学 科学研究費助成事業 応募資格表」（次頁参照）

■ 重複制限ルールの確認

（重複制限一覧表） https://www.jsps.go.jp/file/storage/kaken_kiban_2023_g730/table_of_restriction.pdf

科研費では、限られた財源で多くの研究者を支援する必要があること、申請件数の増加により適正な審査の運営に支障をきたすおそれがあること等を考慮し、「重複制限ルール」が設定されています。

研究代表者として複数種目の申請を検討している場合や、次年度の継続課題を保有しつつ、今回新たに別の研究種目の申請を検討している場合、また研究分担者として参画する場合も重複制限が適用される場合があります。

公募要領で示されている「重複制限一覧表」等、「重複制限ルール」を確認の上、申請を行ってください。

立命館大学 科学研究費助成事業 応募資格表（2023 年 4 月）

【立命館大学】科学研究費助成事業 応募資格表（2023年4月）

○・・・応募資格あり ●・・・手続きを経て応募資格を付与 △・・・応募資格あり(ただし条件あり) ×・・・応募資格なし

職位名称等	科研費電子申請システム上の職名	応募資格	備考
教授	教授	○	
准教授	准教授	○	
理工系基礎教育専任講師	講師	○	
外国語専任講師	講師	○	
任期制教員(教授)	教授	○	
任期制教員(准教授)	准教授	○	
任期制教員(講師)	講師	○	
任期制教員(助教)	助教	○	
継続雇用教員(准教授)	准教授	○	
特任助教	助教	○	
初任助教	助教	○	
初任研究員	研究員	○	
特別契約教員(教授)	教授	○	
特別契約教員(准教授)	准教授	○	
特別任用教員(教授)	教授	○	
特命教員(教授)	教授	○	
特別招聘教員(教授)	教授	○	
特別招聘教員(准教授)	准教授	○	
特別招聘研究教員(教授)	教授	○	
特別招聘研究教員(准教授)	准教授	○	
研究教員(教授)	教授	○	
研究教員(准教授)	准教授	○	
研究教員(助教)	助教	○	
嘱託講師	嘱託講師	○	
助手	助手	○	
客員教員(教授)	教授	○	
客員教員(准教授)	准教授	○	
招聘研究教員(教授)	教授	○	
招聘研究教員(准教授)	准教授	○	
客員研究教員(教授)	教授	○	
客員研究教員(准教授)	准教授	○	
客員研究教員(助教)	助教	○	
専門研究員	研究員	○	
専門研究員 *学外資金、競争的研究費による雇用者	研究員	●	「応募承認申請書」をサーチオフィスへ提出(【※1】参照)
研究員	研究員	○	
研究員 *学外資金、競争的研究費による雇用者	研究員	●	「応募承認申請書」をサーチオフィスへ提出(【※1】参照)
補助研究員	研究員	●	「応募承認申請書」をサーチオフィスへ提出
大学非常勤講師	非常勤講師	●	「応募資格確認書」をサーチオフィスへ提出
授業担当講師	授業担当講師	●	「応募資格確認書」をサーチオフィスへ提出
日本学術振興会特別研究員(SPD)	特別研究員(SPD)	△	但し、申請可能種目制限あり(公募要領で要確認)
日本学術振興会特別研究員(PD)	特別研究員(PD)	△	但し、申請可能種目制限あり(公募要領で要確認)
日本学術振興会特別研究員(RPD)	特別研究員(RPD)	△	但し、申請可能種目制限あり(公募要領で要確認)
日本学術振興会特別研究員(CPD)	特別研究員(CPD)	△	但し、申請可能種目制限あり(公募要領で要確認)
日本学術振興会特別研究員(DC1)	特別研究員(DC1)	△	研究分担者としてのみ申請可能(公募要領で要確認)
日本学術振興会特別研究員(DC2)	特別研究員(DC2)	△	研究分担者としてのみ申請可能(公募要領で要確認)
職員	職員	●	「応募承認申請書」をサーチオフィスへ提出
客員協力研究員	特別研究フェロー 上席研究員 客員研究員 プロジェクト研究員	×	新規課題の申請はできない。 (【※2】参照)。
日本学術振興会外国人特別研究員	-	×	
リサーチアシスタント	-	×	
教学リサーチアシスタント	-	×	
訪問教員	-	×	
協定による招聘教員	-	×	
名誉教授	-	×	

(注)

その他の職位名称については個別判断する。

【※1】

競争的研究費による雇用者については、科研費採択後に、受入教員から研究部事務部長に「若手研究者の自発的な研究活動等承認申請書」を提出し、承認を得ること。

【※2】

①本大学在職時に応募資格のある職位にて科研費を申請後に退職、当該研究課題が採択された時点で他機関へ移管できない場合

②本大学在職時に応募資格のある職位にて科研費を保有中に退職、当該研究課題を他機関へ移管できない場合

上記①または②に合致する場合、代表者自らが各研究機構事務局(リサーチオフィス)に客員協力研究員としての受入を申請し、認められた場合に限り、当該研究課題の終了まで継続して受給する資格を例外的に付与する(代表課題のみ可・分担者課題は不可)。

本年度公募における主な変更点

以下について本年度公募より変更されています。詳細は公募要領ならびに研究部 HP を確認してください。

1. 公募スケジュールの変更

令和 5 (2023) 年度に公募を実施する令和 6 (2024) 年度科研費等について、以下のとおり公募スケジュールが変更されました。

研究種目名	公募開始時期	公募締切時期	審査結果通知	交付内定
基盤研究(A)(B)(C)、 若手研究	令和 5 年 7 月 14 日	令和 5 年 9 月 19 日	令和 6 年 2 月下旬	令和 6 年 4 月上旬
挑戦的研究(開拓)(萌芽)	令和 5 年 7 月 14 日	令和 5 年 9 月 19 日	令和 6 年 6 月下旬 【事前の選考】 令和 6 年 2 月下旬	令和 6 年 6 月下旬
学術変革領域研究(A) (公募研究)	令和 5 年 7 月 14 日	令和 5 年 9 月 19 日	令和 6 年 2 月下旬	令和 6 年 4 月上旬
研究成果公開促進費	令和 5 年 7 月 14 日	令和 5 年 9 月 19 日	令和 6 年 3 月下旬	令和 6 年 4 月上旬

*表中の下線部は令和 4 (2022) 年度に実施した公募からの変更点です。上記以外の研究種目の日程については各公募要領等を確認してください。

*公募開始時期とともに、公募締切時期の変更が行われていることに十分留意してください。

*重複制限が適用される研究種目のうち公募時期が異なるものがありますので、「重複制限一覧表」を十分確認してください。重複制限が適用される場合には、一方の研究種目の研究計画調書の提出(送信)期限後に、既に電子申請システム上で提出(送信)済みの課題を取り下げたとしても、もう一方の研究種目に新たに応募することはできません。

2. 審査資料の電子化及びカラー化について

一部の研究種目(対象となる研究種目は以下参照)について、電子申請システムを通じて研究計画調書(PDF ファイル)の電子媒体を閲覧し審査を行うこととしました。これに伴い、当該研究種目の研究計画調書については、モノクロ(グレースケール)印刷して審査委員へ送付することを取り止めるため、色を付した図や文字が使用された研究計画調書がそのまま審査に付されます。

【審査資料の電子化・カラー化の対象となる研究種目】※

・令和 6 (2024) 年度「特別推進研究」、「基盤研究(S)」

・令和 5 (2023) 年度「研究活動スタート支援」、「海外連携研究」、「国際共同研究強化」、「帰国発展研究」

※その他の研究種目の審査においては、従前と同様、モノクロ印刷された研究計画調書を審査資料として使用します。なお今後、審査状況を踏まえ対象研究種目を拡大していく予定です。

3. 応募書類の引き戻し機能の実装について

本公募より、研究計画調書の提出(送信)期限より前であれば、日本学術振興会への提出(送信)後に研究機関担当者による研究計画調書(応募書類)の引き戻し、必要に応じた訂正、再提出を行うことが可能となりました。

4. 継続研究課題の研究計画の大幅な変更の取扱いについて

新規公募年度に継続が予定されている研究課題(以下「継続研究課題」という。)について、これまで、研究計画の大幅な変更を行おうとする場合には、応募書類(研究計画調書)の提出を受け、改めて審査を行うこととしていましたが、繰越手続きの弾力的な運用や基金化の進展等により研究計画を柔軟に変更することが可能となっており、利用実績も減少していることから、令和 6 (2024) 年度公募より継続研究課題の応募受付を取り止めることとしました。

5. 完了届及び完了理由書の廃止について

継続研究課題について、これまで、研究が予想以上に進展し、継続研究課題の当初の到達目標を既に達成したため、研究種目を変えて更なる研究発展を目指す場合は、当該研究課題の補助事業完了届及び完了理由書（以下「完了届等」という。）を提出した上で、新しい研究課題を応募することとしていましたが、「研究計画最終年度前年度の応募」により応募ができる研究種目の拡大や公募・審査スケジュールの前倒し等により継続研究課題の更なる研究発展が適時適切に可能となっており、利用実績も減少していることから、令和6(2024)年度公募より完了届等の受付を取りやめることとしました。

6. 特別研究員（DC）の研究分担者としての参画について

令和5(2023)年度より、特別研究員（DC）が科研費の研究種目へ研究分担者として参画することが可能となりました。

7. 研究活動スタート支援の応募要件の変更について

令和6(2024)年度研究活動スタート支援の応募要件を変更し、以下のA)又はB)のいずれかに該当することとします。（当該種目の令和6(2024)年度公募要領参照（令和6(2024)年3月上旬公募開始予定））

A) 令和5(2023)年9月20日以降に科学研究費助成事業の応募資格を得、かつ文部科学省及び日本学術振興会が公募を行う以下の研究種目（※）に応募していない者

B) 令和5(2023)年度に産前産後の休暇又は育児休業を取得していたため、文部科学省及び日本学術振興会が公募を行う以下の研究種目（※）に応募していない者

（※）令和6(2024)年度科研費「特別推進研究」、「学術変革領域研究」、「基盤研究」、「挑戦的研究」及び「若手研究」

8. 研究計画調書の構成の変更について

本公募より、「研究費の応募・受入等の状況」欄を研究計画調書のPDFファイル上では表示せず、審査に当たっては電子申請システム上に表示した内容を確認することとしました。なお、本欄は研究計画調書の一部であるというこれまでの取扱いに変更はなく、研究計画調書（Web入力項目）上の入力方法も変更はありません。（別冊「令和6(2024)年度科学研究費助成事業－科研費－公募要領（基盤研究（A・B・C）、挑戦的研究（開拓・萌芽）、若手研究）（応募書類の様式・記入要領）」参照）

9. 研究活動の国際性の確保について

研究者の国際的な研究活動を促す観点から、研究計画に関連した国際的な取組（国際共同研究の実施歴や海外機関での研究歴等）がある場合に、必要に応じて研究計画調書に記載できることを明確にしています。

科研費の研究成果の積極的な国際発信に努めていただく必要があることを明記しています。

10. 研究インテグリティについて

「研究インテグリティの確保に係る対応方針について」（令和3年4月27日統合イノベーション戦略推進会議決定）等を踏まえ、研究活動の透明性の確保のため、必要な対応を実施しています。令和6(2024)年度公募においても引き続き、研究活動の透明性の確保に係る情報について、研究計画調書に記載することとしています。

なお8.に記載のとおり、令和6(2024)年度公募においては昨年度と同様、研究費の応募・受入等の状況を科研費電子申請システムに直接入力いただきます。e-Radに登録された当該情報が科研費電子申請システムに連携されるのは、次年度以降の予定です。

【ご参考】立命館大学における研究インテグリティ

<https://www.ritsumei.ac.jp/research/member/integrity/index.html/>

【ご参考】e-Rad への研究インテグリティに関する情報入力

https://www.ritsumei.ac.jp/research/member/research_grant/rg06.html/

11. 国際共同研究強化の応募資格の変更について

若手研究者の研究活動の国際化を強力に推奨するため、国際共同研究強化の基課題に「特別研究員奨励費」を追加し、日本学術振興会特別研究員採用者の本種目への応募機会を拡大しました。また、これに伴い、日本学術振興会特別研究員（DC）の採用者には、受入研究機関から科研費応募資格を付与された場合、当該種目に限り研究代表者としての応募を認めることとしました。

○第 11 期研究費部会における審議のまとめ（令和 5 年 2 月 1 日）

URL: https://www.mext.go.jp/content/20230308-mxt_gakjokik-000013407_1.pdf

[重要説明事項]（公募要領抜粋）

・ 科研費は、研究者個人の独創的・先駆的な研究に対する助成を行うことを目的とした競争的研究費制度ですので、研究計画調書の内容は応募する研究者独自のものでなければなりません。

他人の研究内容の剽窃、盗用は行ってはならないことであり、応募する研究者におかれては、研究者倫理を遵守することが求められます。

なお、**研究計画調書の作成に当たって、生成 AI を利用することは、意図せず著作権の侵害、個人情報や機密情報の漏洩につながるリスクがありますので、このことに留意した上で研究者個人の責任において判断してください。**

・ 科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

・ 科学的知識の質を保証するため、また、研究者個人やコミュニティが社会からの信頼を獲得するためには、科学者に求められる行動規範を遵守し、公平で誠実な研究活動を行うことが不可欠です。日本学術会議の声明「科学者の行動規範－改訂版－」（うち、I. 科学者の責務）や、日本学術振興会「科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－」（特に、Section I 責任ある研究活動とは）の内容を理解確認してください。

・ 学術研究の国際ネットワークの中で研究活動の質を高めていく観点から、国際学術誌での学術論文の発表、国際共著論文の執筆、国際会議での発表等により研究成果の積極的な国際発信に努めてください。

基盤研究(A)(B)(C)、若手研究、挑戦的研究(開拓)(萌芽)、学術変革領域研究(A)(公募研究)

申請フロー

■ 応募書類について

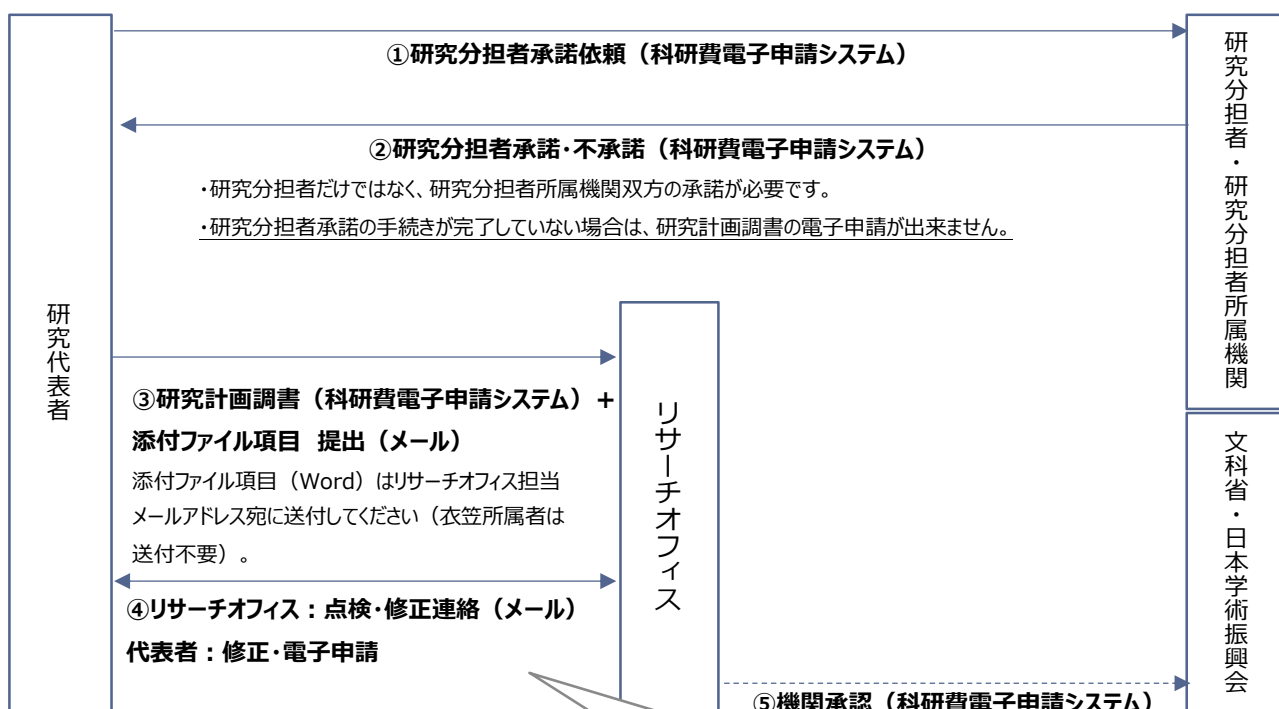
研究計画調書は「Web 入力項目」と「添付ファイル項目」(Word ファイル) の2つの項目で構成されています。

研究計画調書の作成にあたっては、研究種目ごとの「研究計画調書作成・記入要領」を必ず確認してください。

研究代表者は、科研費電子申請システム上で「Web 入力項目」を入力し、別途作成した「添付ファイル項目」(Word ファイル) をアップロードすると、研究計画調書 (PDF) が完成します。

■ 申請手続き

研究計画調書 (PDF) は科研費電子申請システム上で電子申請します。但し、研究代表者が行う電子申請は、研究機関 (本大学ではリサーチオフィス) への提出となり、文部科学省や日本学術振興会には直接送信されません。



学内提出締切

基盤研究(A)(B)(C)、 若手研究 挑戦的研究(開拓)(萌芽) 学術変革領域研究(A) (公募研究)	2023 年 8 月 29 日 (火) 12 : 00
--	-----------------------------------

・リサーチオフィスでは、学内締め切りまでに提出いただいた研究計画調書について、記入要領などに基つき、点検をおこないます。

(a)点検後、修正が必要な箇所があれば、代表者にその旨をメール連絡します。代表者は修正作業をおこない、再度電子申請 (+ 添付ファイル項目再送信) をしてください。

(b)点検後、修正が必要な箇所がなければ (または (a) にて修正完了の場合)、代表者にその旨をメール連絡します。リサーチオフィスは完成したもののから随時⑤機関承認します。

■ 「添付ファイル項目」(Word) 作成上の留意点

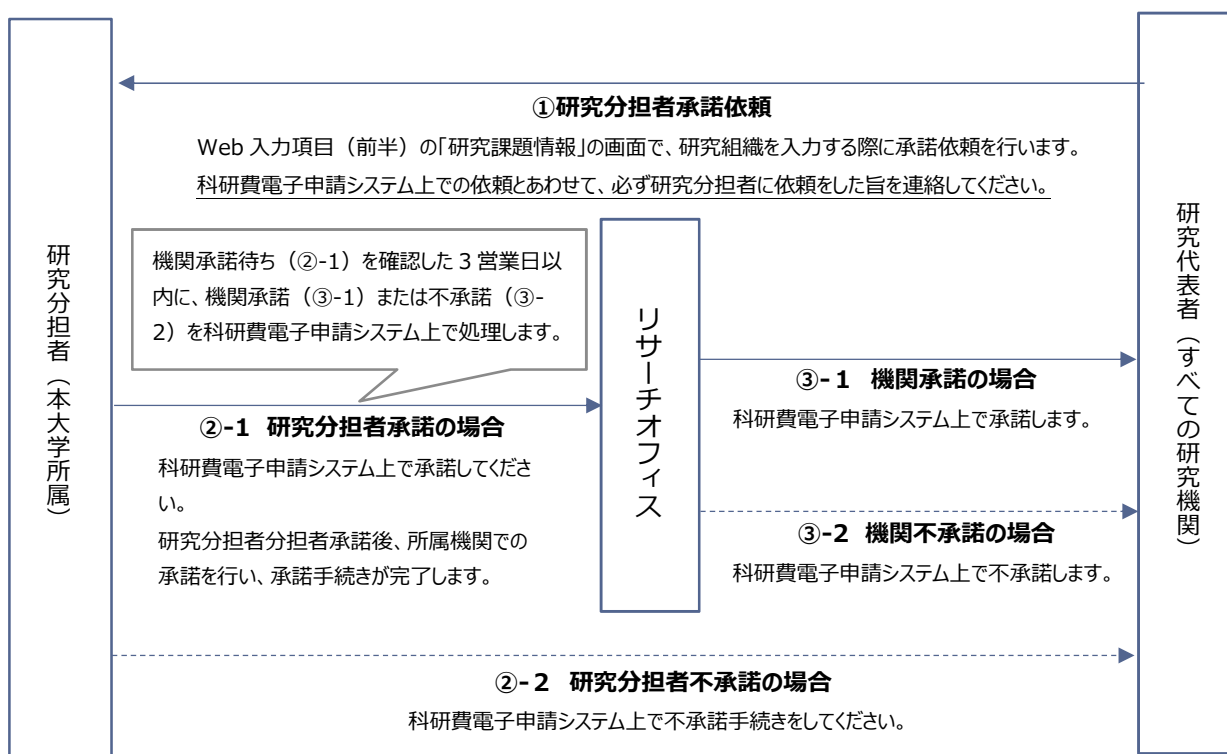
- ・11 ポイント以上 (英語の場合は 10 ポイント以上) の大きさの文字等を使用してください。
- ・各記入欄のタイトルは必ずページの先頭に来るようにしてください。
- ・各記入欄で定められたページ数は超えないようにしてください (ページの追加禁止)。
- 各記入欄の指示に沿って作成した結果、空白 (白紙) のページが生じても構いません (ページの削除禁止)。
- ・余白設定 (上 20mm、下 20mm、左 25mm、右 25mm) を変更しないでください。
- 余白設定を変更すると、審査書類として印刷された際に、文字等の欠落等の恐れがあります。
- ・モノクロ印刷 (グレースケール) された研究計画調書で審査されるため、図表やチャート、写真等は、必ずモノクロ印刷で鮮明に見える色彩にてご作成ください。

研究分担者承諾手続きについて

研究代表者と研究分担者が同一研究機関の場合にも、科研費電子申請システム上での研究機関承諾が必要となります。

本大学における機関承諾（研究分担者が本大学所属）は、科研費応募資格の有無により、承諾または不承諾の判定を行うことを原則としています。一部職位においては、学内手続きを経た上で応募資格が付与されるため、手続きが完了するまでは、機関承諾を行いませんので、ご注意ください。

なお、研究分担者が他研究機関の場合、機関承諾は研究分担者の所属機関において処理されます。



※研究分担者承諾後の登録内容の修正

エフォート等、研究分担者が承諾内容の修正をする場合は、研究代表者が科研費電子システム上で差し戻しを行うことで可能となります。

差し戻し手続き後、再度所属研究機関による承諾の手続きは必要ありません。

■ 科研費電子申請システムの操作について

研究者分担者承諾依頼ならびに承諾・不承諾の手続き方法は、以下をご確認ください。

【研究者向け操作手引（詳細版）】

<https://www-shinsei.jsps.go.jp/kaken/docs/manual1ka.pdf>

【研究分担者承諾の手続きについて（研究代表者向け）】

https://www-shinsei.jsps.go.jp/kaken/docs/buntan_flow_D.pdf

【研究分担者承諾の手続きについて（研究分担者向け）】

https://www-shinsei.jsps.go.jp/kaken/docs/buntan_flow_B.pdf

研究成果公開促進費（学術図書、データベース、研究成果公开发表(B)(ひらめき☆ときめきサイエンス)）

申請フロー

■ 応募用 ID・パスワードの取得手続きについて（学術図書、データベース）

学術図書、データベースに申請の場合、事前に応募用 ID・パスワードの取得手続きをご自身で行っていただくことが必要です（e-Rad のログイン ID・パスワードとは異なります）。ID・パスワードは当該応募年度のみ使用可能であるため、前年度以前に取得した ID・パスワードの再利用はできません。前年度以前に取得された場合も本年度新たに ID・パスワードの申請をお願いいたします。

※2022 年度応募より、1 件の応募につき、1 つの応募用 ID・パスワードを取得することになりました。このため、重複応募可能な研究成果公開促進費に応募する場合は、ID を応募件数に応じて取得してください。なお、採択となった事業課題の手続きや採択されなかった事業課題の審査の所見の開示にも必要ですので、ID・パスワードは応募書類提出後も適切に保管してください。

■ 研究成果公開促進費応募者向けページ（学術図書、データベース）

<http://www-shinsei.jsps.go.jp/kaken/seika/index.html>

※上記ページより応募用 ID・パスワードの取得手続きをお願いいたします。

※研究成果公开发表(B)(ひらめき☆ときめきサイエンス)への応募にあたっては、e-Rad のログイン ID・パスワードで「科研費電子申請システム」にアクセスし、応募書類を作成してください。

■ 応募資格の確認について（研究成果公开发表(B)(ひらめき☆ときめきサイエンス)）

「研究成果公开发表（B）（ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～K A K E N H I）」に応募するには以下①②の要件を満たす必要があります。

①所属機関（本大学）から科研費応募資格が付与されている研究者。

「立命館大学科学研究費助成事業応募資格表」では職位等別に資格付与の有無を掲載していますのでご確認ください。（本冊子 p4 参照）

②過去または令和 5（2023）年度に継続中の科研費の研究課題の研究代表者として研究を実施したことがある研究者。（公募要領 https://www.jsps.go.jp/file/storage/kaken_13_g743/i_r06_koubo00_all.pdf p17 参照）

■応募書類について

詳細は必ず公募要領（https://www.jsps.go.jp/file/storage/kaken_13_g743/i_r06_koubo00_all.pdf）を確認してください。

【学術図書】

提出書類		内容・留意点	提出方法
計画調査 ※電子申請システム上で PDF ファイルに変換	Web 入力項目	科研費電子申請システム上で入力 応募者情報、事業名、応募額等基本情報等	電子申請 ※5M 以上の ファイルは添付 できませんので ご注意ください
	添付ファイル項目 (S-51-4)	指定様式（Word ファイル）を日本学術振興会の HP からダウンロード 刊行の目的及び意義、刊行物の内容等を記載	
添付資料 ※PDF 化し、 電子申請システムでアップロード	見積書	指定様式（Excel ファイル）を日本学術振興会の HP からダウンロード （刊行形態により様式が異なるので注意）	
	発行部数積算書 （紙媒体で刊行する場合のみ）	指定様式（Word ファイル）を日本学術振興会の HP からダウンロード	電子提出
完成した原稿の写し 1 部 * 電子媒体での提出とします。		メール添付（PDF）でリサーチオフィスへ提出 * ファイル名は、整理番号_区分内番号_応募者氏名としてください。 （例：060001_120_成果太郎.pdf）	

□見積書、発行部数積算書について

2 社以上から取得したうえで 1 社を選定し、応募書類として提出します。

取得した全ての見積書、発行部数積算書については、リサーチオフィスに PDF データを提出してください。

□完成した原稿の写しについて

日本学術振興会へは電子媒体で提出することとなります。表紙ならびに原稿のデータについては、メールでリサーチオフィスに提出してください。

また、点検用に紙媒体 1 部もあわせてリサーチオフィスに提出してください。

【データベース】

提出書類		内容・留意点	提出方法
計画調査 ※電子申請システム上で PDF ファイルに変換	Web 入力項目	科研費電子申請システム上で入力 応募者情報、事業名、応募額等基本情報等	電子申請 ※5M 以上の ファイルは添付 できませんので ご注意ください
	添付ファイル項目 (S-51-5)	指定様式（Word ファイル）を日本学術振興会の HP からダウンロード データベース作成計画、データベース公開の具体的方法等を記載	
添付資料 ※PDF 化し、電子申請システムでアップロード	入力作業委託費 見積書	指定様式（Excel ファイル）を日本学術振興会の HP からダウンロード * 令和 6（2024）年度に入力作業委託費を計上し、当該委託費が 100 万円を超える場合に必要	
	記録メディア作成 委託費見積書	指定様式（Excel ファイル）を日本学術振興会の HP からダウンロード * 応募する事業期間内のいずれかの年度において、記録メディアの作成委託費を計上し、かつ当該委託費が 250 万円を超える場合に必要	電子申請 ※5M 以上の ファイルは添付 できませんので ご注意ください
	利用規程	任意の様式にて、それぞれの書類を作成する	
	検索過程・結果	* A4 判サイズ以外のものは、A4 判に拡大・縮小コピーを行うか、A4 判の大きさの台紙に貼り付けるなどして A4 版に統一したうえで PDF 化してください。	
		検索マニュアル	

□見積書の作成にあたって

2 社以上から取得したうえで 1 社を選定し、応募書類として提出します。

取得した全ての見積書については、リサーチオフィスに PDF データを提出してください。

【研究成果公开发表(B)(ひらめき☆ときめきサイエンス)】

提出書類		内容・留意点	提出方法
計画調書 ※電子申請システム上で PDF ファイルに変換	Web 入力項目 (前半)	科研費電子申請システム上で入力 プログラム名、開催予定日等プログラムに係る基本データ、プログラムと関係する科研費の研究課題等	電子申請
	添付ファイル項目 (S-53)	指定様式 (Word ファイル) を日本学術振興会の HP からダウンロード 科研費による研究の魅力・面白さ、プログラムの内容等を記載	
	Web 入力項目 (後半)	科研費電子申請システム上で入力 応募経費と各経費の説明	

■ 申請スケジュール

日程	学術図書	データベース	研究成果公开发表(B) (ひらめき☆ときめきサイエンス)
～8/8 (火)	【学術図書・データベース】 ・研究成果公開促進費応募用 ID・パスワードを申請 →リサーチオフィスへ申請希望の旨を連絡 →リサーチオフィスにて科研費電子申請システム上で承諾手続き		
<学内締切> 8/29 (火) 12 : 00	【共通】 科研費電子申請システムよりリサーチオフィスへ応募書類を提出 【学術図書】 「完成した原稿等の写し」(電子媒体および点検用の紙媒体 1 部) をリサーチオフィスに提出してください		
～9/15 (金)	【共通】 リサーチオフィスにて点検・修正→申請者に連絡		
<提出期限> 9/19 (火) 16 : 30	【共通】 リサーチオフィスより電子申請システムにて日本学術振興会へ応募書類を提出		
9/26 (火) 必着	【学術図書】 「完成した原稿等の写し」(電子媒体) については、研究部にて取りまとめ →日本学術振興会へ提出		

学内提出書類（各研究種目共通）

1. 主な学内提出書類

応募にあたっては、以下の書類を提出する必要があります。（提出対象者に該当する場合のみ）

提出方法等の詳細は、研究部HP（科学研究費助成事業のページ）をご確認ください。

<http://www.ritsumei.ac.jp/research/member/kakenhi/oubo/koubo.html/>

書類名称		提出対象者（職位等）	提出方法	学内締切
①	e-Rad 登録依頼書	・本大学での e-Rad への研究者情報が未登録の教員・研究者	以下のページより「e-Rad 登録依頼書」をダウンロードのうえ、依頼書に記載の各 RO の e-Rad 担当者へメールで提出 https://www.ritsumei.ac.jp/research/member/research_grant/rq06.html/	8月22日 (火) 12:00
②	博士学位取得日届出書 * 学位記（写）の提出が必要	【若手研究申請者】 2024 年 4 月 1 日現在で次の①あるいは②に該当する者 ① 博士の学位取得後 8 年未満の者 ② 博士の学位取得後に取得した産前・産後の休暇、育児休業の期間を除くと博士の学位取得後 8 年未満となる者 ※2017 年度以降、本大学において本届出書を提出済みの方は提出不要	https://sdb.ritsumei.ac.jp/hibiki/BRDDocument.do?func=insert&binderId=10707	
③	応募承認申請書 * 受入教員の承認書類が必要	・外部資金で雇用されている専門研究員および研究員 ・補助研究員 ・職員	https://sdb.ritsumei.ac.jp/hibiki/BRDDocument.do?func=insert&binderId=10764	
④	応募資格確認書 (非常勤講師・授業担当講師)	・非常勤講師 ・授業担当講師	https://sdb.ritsumei.ac.jp/hibiki/BRDDocument.do?func=insert&binderId=10715	
⑤	産前産後休暇および育児・介護休業中における研究費使用等申請書	該当する休暇休業中に科研費の申請を希望する教員・研究者	https://sdb.ritsumei.ac.jp/hibiki/BRDDocument.do?func=insert&binderId=10701	
⑥	公的研究費に関する誓約書 * 「研究機関における公的研究費の管理・監査ガイドライン」改正に基づくコンプライアンス教育の受講が必要	①新規受講：新規任用の教員・研究者は公的研究費を受給・新規申請する前に受講してください。 ②更新受講：在籍する教員・研究者のうち、2020 年度以降、受講・誓約書を提出していない場合は受講が必要です。	・コンプライアンス教育受講方法： https://www.ritsumei.ac.jp/research/member/research_expenses/05.html/ ・提出先： https://sdb.ritsumei.ac.jp/hibiki/BRDDocument.do?func=insert&binderId=11163	9月12日 (火) 12:00
⑦	研究倫理 e ラーニングコース[eL CoRE]修了証書 * (「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づく研究倫理研修の受講が必要)	本大学で 2021 年度以降、受講・書類を提出したことのない教員・研究者 ※2020 年度以前に [eL CoRE] を受講されていた場合であっても改めての受講が必要です。	・研究倫理研修受講案内： https://www.ritsumei.ac.jp/research/file/rinri_20210629-01.pdf ・提出先： https://sdb.ritsumei.ac.jp/hibiki/BRDDocument.do?func=insert&binderId=10274	

①e-Rad 登録依頼書

- ・本大学において e-Rad への研究者情報が未登録の教員・研究者は「e-Rad 登録依頼書」を所属キャンパスリサーチオフィスの e-Rad 担当者宛にメールにてご提出ください。
- ※提出先については「e-Rad 登録依頼書」に記載されていますので、ご確認ください。

②博士学位取得日届出書及び学位記（写）（対象：若手研究申請者）

- ・2017 年度以降、本大学において既に提出されたことがある方は、あらためての提出は不要です。
- ・他機関から転入された方は、他機関在籍時に博士学位取得日を e-Rad に登録済みであっても、あらためての提出が必要です。
- ・海外の大学で取得した学位の場合は、各リサーチオフィス科研費申請担当までご相談ください（日本における「博士の学位」と同等であるかどうかについて確認します）。

③応募承認申請書

研究計画調書の学内締切よりもさらに早期に締切を設定していますのでご注意ください。応募承認申請書は、研究代表者あるいは研究分担者の所属長（学部長、研究科長など）や受入教員の応募許可を得る必要があります。

④応募資格確認書（非常勤講師・授業担当講師）

研究計画調書の学内締切よりもさらに早期に締切を設定していますのでご注意ください。

⑤産前産後休暇および育児・介護休業中における研究費使用等申請書

研究者の研究活動支援・ダイバーシティ推進の観点から、産前産後休暇、育児・介護休業期間と科研費の公募期間が重なっていても、副学長（研究担当）の承認により例外的に科研費の申請を可能とする制度です。

⑥公的研究費に係るコンプライアンス教育の受講について

「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（2007 年 2 月 15 日文科科学大臣決定 2014 年 2 月 18 日改正）を受け、本大学では、科研費の研究代表者及び研究分担者（研究分担者は本大学所属）は本大学における公的研究費に係るコンプライアンス教育の受講と誓約書の提出が必要となります。

- ✓ 新規受講：新規任用された研究者は、前任校で同様のコンプライアンス教育を受講し、前任校に対して誓約書等を提出していた場合であっても、本大学において科研費の新規申請をする場合は、あらためてコンプライアンス教育を受講した上で、誓約書の提出が必要です。（着任時に本誓約書を提出されている場合は、あらためての提出は不要です）
- ✓ 更新受講：「公的研究費に係るコンプライアンス教育および誓約書提出について」（2020年6月26日研究委員会）において、在籍する研究者についても、公的研究費を受給・新規申請する者は、5年度ごとの再受講と誓約書の提出を求めることとし、2020年度がその取り組み年度となっておりました。2020年度以降、本大学でのコンプライアンス教育を受講している場合、再受講や誓約書の再提出は必要ありません。

受講方法および提出先：

https://secure.ritsumeai.ac.jp/research/member/research_expenses/05.html/

視聴には、RAINBOWのユーザーIDとPassword の入力が必要です。

⑦研究倫理教育の受講について

「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（2016年8月26日文部科学大臣決定）を受け、本大学では科研費の申請者は、5年ごとの大学が定める年度に日本学術振興会が作成したeラーニング[eL CoRE]の受講と誓約書の提出を求めることとし、2021年度がその取り組み年度となっていました（2021年3月26日研究委会）。2021年度以降、[eL CoRE]を受講し、修了証書を提出されている場合、再受講や再提出をする必要はありません。

受講方法および提出先：

- ①<https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx> にアクセスする。
- ②新規登録「個人」を選択、ID・PWを取得し、eラーニングを受講する
- ③受講が修了すれば、修了証書をPDFで取得し、PCに保存する
- ④<https://sdb.ritsumei.ac.jp/hibiki/BRDDocument.do?func=insert&binderId=10274> にアクセスし、③の修了証書を添付の上、提出する。

研究インテグリティについて

「研究インテグリティの確保に係る対応方針について」（令和3年4月27日統合イノベーション戦略推進会議決定）等を踏まえ、研究活動の透明性の確保のため、必要な対応を求められており、令和6(2024)年度公募においても引き続き、研究活動の透明性の確保に係る情報について、研究計画調書に対し、以下の対応が必要です。

- ・研究計画調書の「研究費の応募・受入等の状況」欄に国内の競争的研究費のみならず、国外も含めた研究資金を記載すること。
- ・研究計画調書の「研究費の応募・受入等の状況」欄に記載した研究課題を応募・受け入れるに当たっての所属組織・役職を記載すること。
- ・研究計画調書は、応募者が関与する全ての研究活動に係る透明性の確保のために必要な情報について、所属研究機関の取扱いに基づき所属研究機関と適切に共有するとともに、外国為替及び外国貿易法（昭和24年法律第228号）に基づき規制されている技術の取扱いを予定している場合には、当該法律や所属研究機関の規程等を踏まえ、安全保障貿易管理体制や対処方法等を十分に確認した上で提出すること。

※研究計画調書「研究費の応募・受入等の状況」欄の作成にあたっての詳細は、以下「令和6（2024）年度 科研費公募要領 基盤研究（A・B・C）挑戦的研究（開拓・萌芽）、若手研究 別冊（応募書類の様式・記入要領）」p 96をご参照ください。

https://www.jsps.go.jp/file/storage/kaken_kiban_2023_g730/r6_7_kobo_suppl.pdf

なお、研究計画調書に事実と異なる記載をした場合には、研究課題の不採択、採択取消し、又は減額配分されることがありますので、ご注意ください。

e-Radへの研究インテグリティに関する情報の入力方法に関しては、以下URLをご参照ください。

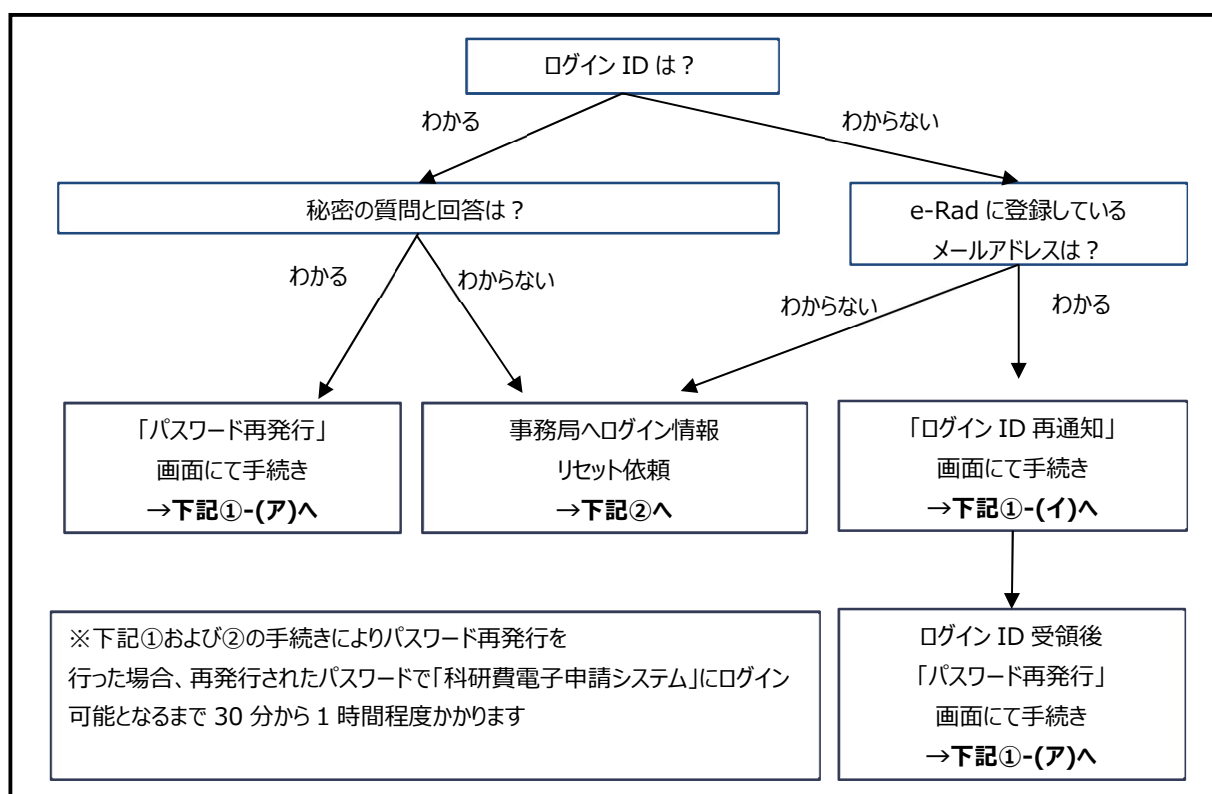
https://www.ritsumei.ac.jp/research/member/research_grant/rg06.html/

https://secure.ritsumei.ac.jp/research/member/researcher_appointment/file/research_integrity.pdf

立命館大学における研究インテグリティについては、以下URLをご参照ください。

<http://www.ritsumei.ac.jp/research/member/integrity/index.html/>

e-Rad の ID・パスワードがわからない場合の手続きフローチャート



①e-Rad へのログイン画面からの手続き

<http://www.e-rad.go.jp/index.html>

※画面右上部「ログイン」の下「ID・パスワードを忘れた方」より

(ア)「パスワード再発行」画面→【パスワードを忘れた方はこちら】をクリック

(イ)「ログイン ID 再通知」画面→【ログイン ID を忘れた方はこちら】をクリック

※上記 (ア) (イ) の手続きにより、「e-rad.system」から e-Rad に登録されたメールアドレス宛パスワードまたはログイン ID の通知メールが自動送信されます。

※詳細は研究部 HP 「ログイン ID・パスワードが不明な場合」へ

http://www.ritsumei.ac.jp/research/member/research_grant/rg06.html/

②事務局へのログイン情報リセット依頼

■衣笠キャンパス、朱雀キャンパス所属の方

＜送信先＞衣笠リサーチオフィス db-krsc@st.ritsumei.ac.jp

＜問い合わせ先＞e-Rad 担当：今井・岡部（TEL）075-465-8224（内線）511-2398

■びわこ・くさつキャンパス所属の方

＜送信先＞BKC リサーチオフィス b-kaken@st.ritsumei.ac.jp

＜問い合わせ先＞

e-Rad 担当（経済以外の BKC 所属の方）：林（亜）・高野（TEL）077-561-2802（内線）515-6549

e-Rad 担当（経済）：北川（内線）515-7852

■大阪いばらきキャンパス所属の方

＜送信先＞OIC リサーチオフィス oiicro@st.ritsumei.ac.jp

＜問い合わせ先＞e-Rad 担当：工藤・岡本（TEL）072-665-2570（内線）513-3508

本大学における申請支援

■ 公募説明会等各種セミナー

公募説明会をはじめとした科研費に関する各種セミナーを実施しています。セミナー後は、研究部 HP（科学研究費助成事業のページ）にて動画配信を行っています。また、過去に開催されたセミナーや講演会の動画も同ページで公開していますので、あわせてご覧ください。

<https://secure.ritsumei.ac.jp/students/research/member/kakenhi/oubo/shinseishien.html/>

■ 研究計画調書 ブラッシュアップ制度

研究部では、主に人文・社会科学系の若手研究者の申請支援として、科研費申請アドバイザー委員による「研究計画調書ブラッシュアップ制度」を実施しています。アドバイザーは、科研費審査委員・研究高度化審査委員の就任経験者、複数回にわたる科研費をはじめとした外部資金獲得者の中から委嘱しています。

申請分野・内容と、専門分野が出来る限り近い先生方からアドバイスを頂くことのできる貴重な機会ですので、積極的にご活用ください。

対象者	主に人文・社会科学系の「若手研究」「基盤研究（C）」への申請者 具体的な対象者は各キャンパスのリサーチオフィスにお問い合わせください。
利用方法	以下のメールアドレス宛に、「ブラッシュアップ制度利用希望」の旨ご連絡ください。追って担当者より必要な手続きをご案内いたします。 ☐ 衣笠キャンパス・朱雀キャンパス所属の方 衣笠リサーチオフィス：brushup@st.ritsumei.ac.jp ☐ びわこ・くさつキャンパス所属の方 BKC リサーチオフィス：各担当 TP を通じてご相談下さい。 ☐ 大阪いばらきキャンパス所属の方 OIC リサーチオフィス：o-kaken1@st.ritsumei.ac.jp
利用締切	各キャンパスのリサーチオフィスにお問い合わせください。

■ 採択調書 閲覧サービス

過去に科研費に採択された研究者のうち、ご許可いただいた方の採択調書をリサーチオフィスにて閲覧いただけます。なお閲覧はオフィス内のみとし、コピーすることはできません。

学内助成制度について

■ 研究高度化推進制度について

科研費に申請し、残念ながら採択に至らなかった場合、次年度の科研費の申請と獲得を通じて、研究活動の活性化を図ることを目的とした学内研究費を助成するプログラムを実施して参りました。本プログラムの助成を受けるには、科研費の審査結果が必要となります。**申請の際には必ず「審査結果の開示を希望する」を選択してください。**

なお、次年度以降の受給条件等は、本年度より変更となる可能性がありますので、ご注意ください。

■ 研究部（研究高度化推進制度のページ）

募集要項は来春以降に決定します。確定次第、研究部 HP に要件等を掲載します。

http://www.ritsumei.ac.jp/research/member/research_grant/rq01/index.html/

リサーチオフィス問合せ先

■衣笠キャンパス、朱雀キャンパス所属の方：衣笠リサーチオフィス

所属	メールアドレス
文学部	shinsei1@st.ritsumei.ac.jp
産業社会学部、先端総合学術研究科	shinsei2@st.ritsumei.ac.jp
法学部、法務研究科、言語教育情報研究科	shinsei3@st.ritsumei.ac.jp
国際関係学部、映像学部、教職研究科	shinsei4@st.ritsumei.ac.jp
衣笠総合研究機構、R-GIRO、立命館アジア・日本研究機構、言語教育推進機構、教職教育推進機構、教育開発推進機構、共通教育推進機構、国際教育推進機構、保健センター 外国語嘱託講師、非常勤講師・授業担当講師（所属に関わらず）	shinsei5@st.ritsumei.ac.jp

□相談・問合せ窓口 乾、市川、笠谷、兼清（内線：511-2383）

Mail : shinseik@st.ritsumei.ac.jp TEL : 075-465-8224、FAX 075-465-8245（内線 511-2544）

■びわこ・くさつキャンパス所属の方：BKC リサーチオフィス

所属	メールアドレス
理工学部（環境・建築・電電・電情）	b-kaken1@st.ritsumei.ac.jp
理工学部（ロボ・物理・数理・機械）	b-kaken2@st.ritsumei.ac.jp
情報理工学部	b-kaken3@st.ritsumei.ac.jp
生命科学部	b-kaken4@st.ritsumei.ac.jp
薬学部、スポーツ健康科学部	b-kaken5@st.ritsumei.ac.jp
食マネジメント学部、経済学部	b-kaken6@st.ritsumei.ac.jp
総合科学技術研究機構、R-GIRO、上記以外の所属の方	b-kaken7@st.ritsumei.ac.jp

□相談・問合せ窓口（科研費申請担当）高野、工藤、松原、林（亜）、江南（内線：515-6511）

Mail : b-kaken@st.ritsumei.ac.jp TEL : 077-561-2802、FAX 077-561-2811（内線 515-7509）

■大阪いばらきキャンパス所属の方：OIC リサーチオフィス

所属	メールアドレス
OIC キャンパス学部・研究科、OIC 総合研究機構、R-GIRO、立命館アジア・日本研究機構、上記以外の所属の方	o-kaken1@st.ritsumei.ac.jp

□相談・問合せ窓口 岡本、宇治、堀田、工藤（内線：513-3511）

TEL : 072-665-2570、FAX 072-665-2579（内線 513-3519）

(参考資料) 令和 4 (2022) 年度科研費における若手研究者の新規採択状況

研究種目		応募件数	採択件数	採択率
特別推進研究	39歳以下	2	0	0.0%
	全体	88	10	11.4%
新学術領域研究 (研究領域提案型)	39歳以下	298	123	41.3%
	全体	1,083	392	36.2%
学術変革領域研究 (A)	39歳以下	564	134	23.8%
	全体	2,558	415	16.2%
学術変革領域研究 (B)	39歳以下	244	23	9.4%
	全体	875	90	10.3%
基盤研究 (S)	39歳以下	13	2	15.4%
	全体	649	80	12.3%
基盤研究 (A)	39歳以下	61	17	27.9%
	全体	1,920	526	27.4%
基盤研究 (B)	39歳以下	1,524	441	28.9%
	全体	11,552	3,403	29.5%
基盤研究 (C)	39歳以下	6,818	2,151	31.5%
	全体	45,434	12,952	28.5%
挑戦的研究 (開拓)	39歳以下	86	19	22.1%
	全体	1,365	183	13.4%
挑戦的研究 (萌芽)	39歳以下	1,174	198	16.9%
	全体	9,391	1,505	16.0%
若手研究	39歳以下	10,029	4,258	42.5%
	全体	13,142	5,293	40.3%
研究活動スタート支援	39歳以下	2,988	1,200	40.2%
	全体	3,617	1,391	38.5%
国際共同研究加速基金 (国際先導研究)	39歳以下	2	0	0.0%
	全体	131	15	11.5%
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (B))	39歳以下	81	20	24.7%
	全体	665	180	27.1%
合計	39歳以下	23,884	8,586	35.9%
	全体	92,470	26,435	28.6%

※令和 5 年 1 月文部科学省研究振興局 学術研究推進課「令和 4 年度科学研究費助成事業の配分について」

資料 1-1-1 科研費（補助金分・基金分）配分状況一覧（令和 4 年度 新規採択分）

資料 2-2 年齢別配分状況（令和 4 年度 新規採択分）【参考】40 歳未満の配分状況